

産学連携による新商品・サービス開発プロジェクトに関する研究

大嶋 淳俊¹

A Study on the Industry-Academia Collaboration Project for New Products and Services Development

Atsutoshi Oshima

1. 背景・目的

全国の大学において、地域貢献や実践的教育を志向する取り組みとして、企業や自治体等と組んで新商品・サービスの開発やプロデュースのプロジェクトが増えている。大学の PR にも繋がることから積極的な大学は多いが、学生の意欲の問題や市場性の認識不足で当初期待していたほどの結果が出ていないものも少なくない。また、活動に従事した大学生にとってどれほど役立ったか、課題は何かについて、全体的な傾向の把握が難しい。

そこで、4 年制の大学学部在籍時代に産学連携プロジェクト活動に従事したことがある社会人（20 代～30 代）を対象に、Web アンケートによる実態把握を試みた。

《主な調査概要》

- ・ 調査方法：ネット調査会社のパネルを利用した Web アンケート調査
- ・ 調査時期：2021 年 2 月～3 月

《調査対象》

- ・ フルタイム勤務の男女、22 歳～39 歳、計 500 人
- ・ 最終学歴が 4 年制大学・大学院卒
- ・ 4 年制大学の学部在籍時代に企業と連携活動を行ったことがある人

¹ 昭和女子大学現代ビジネス研究所 研究員

2. 調査結果の概要

2.1. 回答者の属性

- (1) 最終学歴：4年制大学・文系（55.2%）、4年制大学・理系（21.8%）
大学院・文系（8.2%）、大学院・理系（14.8%）

※大学院卒に対しても、学部在籍時の経験について聞いた

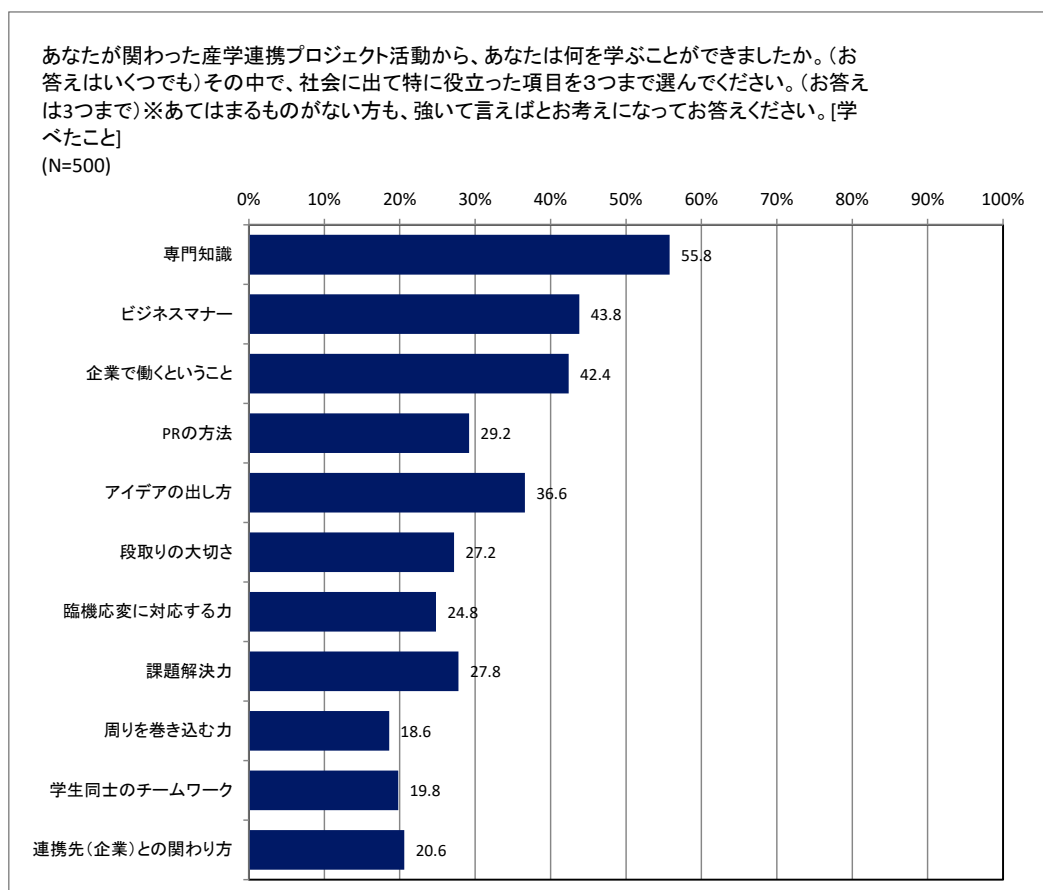
- (2) 出身大学の所在地：関東地方（49.0%）、関西地方（15.4%）、
中部地方（11.6%）、近畿地方（11.4%）、その他

2.2. 回答結果

以下、主な回答結果を紹介する。

(1) 産学連携プロジェクト活動で学んだこと

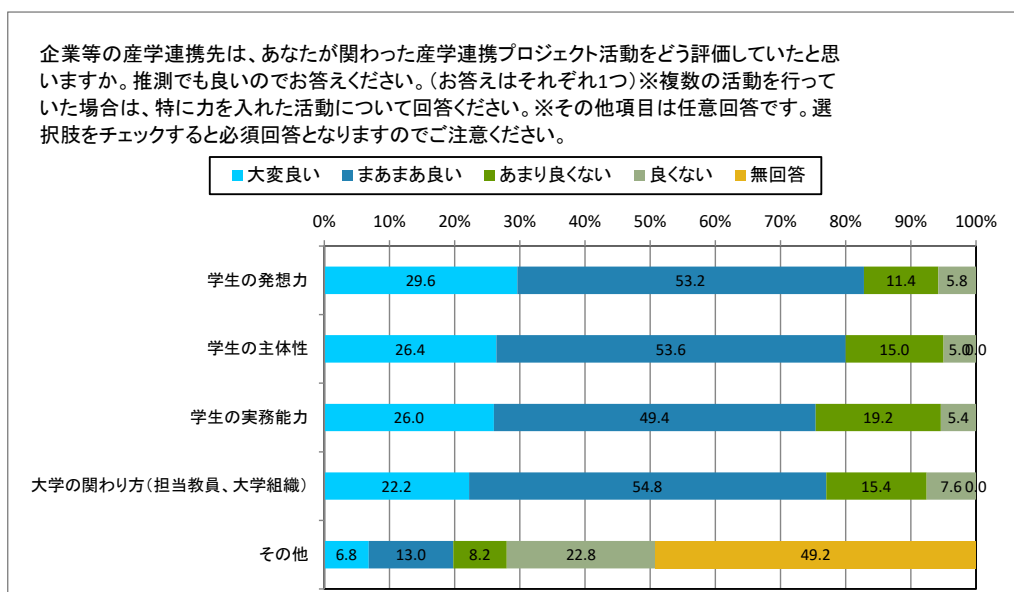
図 1 産学連携プロジェクト活動で学んだこと（複数回答）



回答の多かった順に「専門知識」（55.8%）、「ビジネスマナー」（43.8%）、「企業で働くということ」（42.48%）となっている。プロジェクト活動内容によるが、基本的な知識と経験の吸収の機会になっていたことがわかる。

(2) 産学連携先からの視点

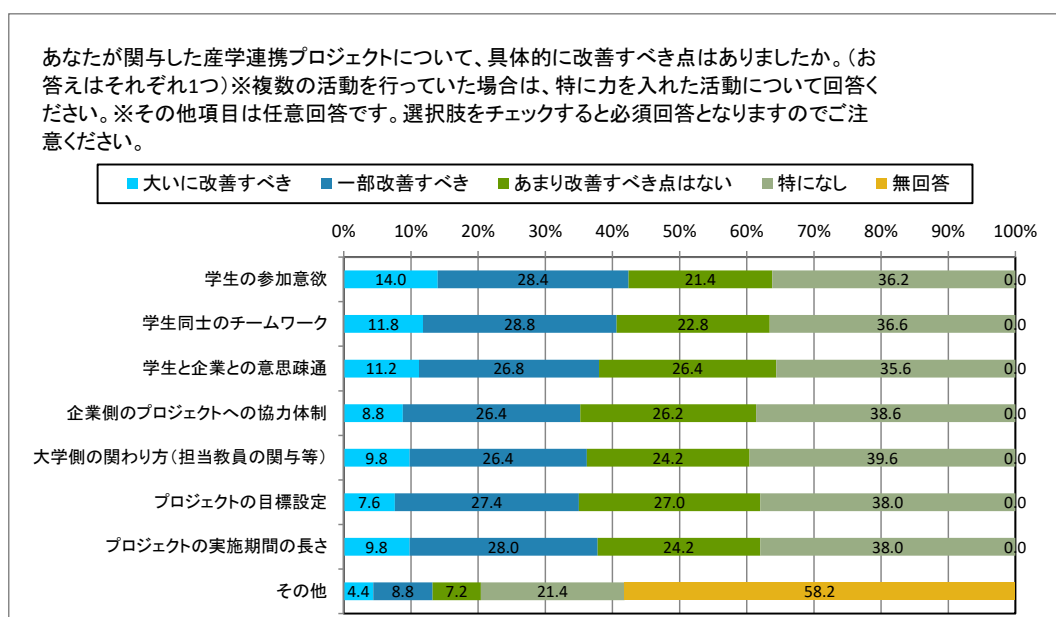
図 2 産学連携先は、産学連携プロジェクト活動をどう評価していたと思うか



この数値は自己評価になるが、「大変良い」「まあまあ良い」の合計値でみると、「学生の発想力」(82.8%)、「学生の主体性」(80%)が高い。一方、「良くない」「あまり良くない」の合計値では、「学生の実務能力」(24.6%)が最も厳しい結果となっているが、この点については学生なので仕方がない面があると思われる。学生時での見方ではあるが、次に低評価なのが「大学の関わり方」(23%)なのは留意する必要がある。

(3) 産学連携プロジェクト活動の改善点

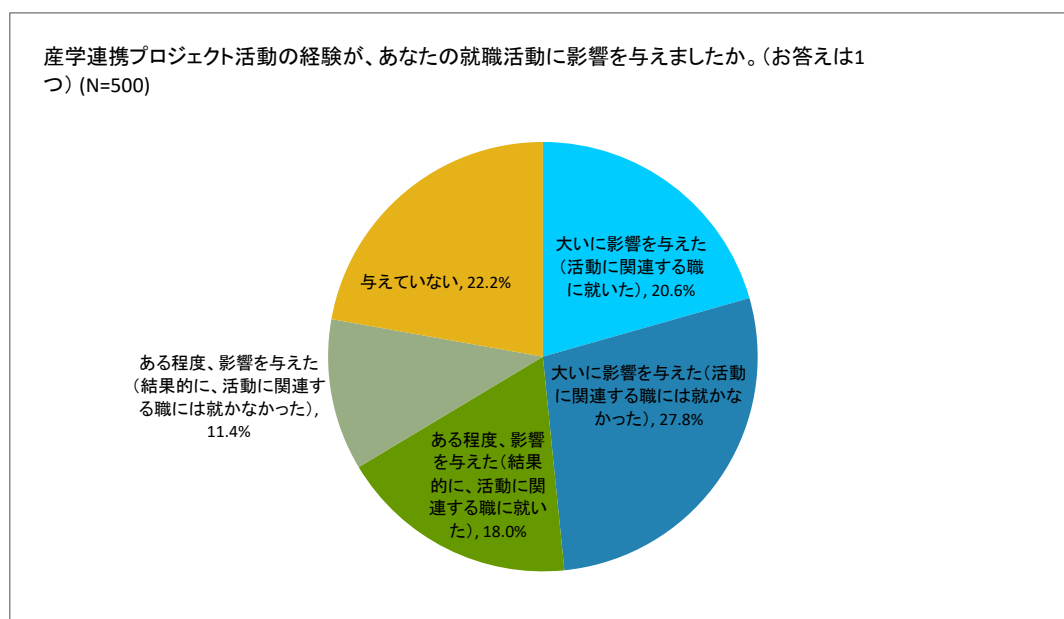
図 3 産学連携プロジェクト活動について、改善すべき点はあったか



「大いに改善すべき」「一部改善すべき」の合計値が多かった順は、「学生の参加意欲」(42.4%)、「学生同士のチームワーク」(40.6%)、「学生と企業の意味疎通」(38%)であった。学生の参加姿勢やコミュニケーション・スキルに起因する面が高いといえる。「学生の参加意欲」についてのコメントとして「意欲的な人とそうでない人の差が激しい」「意欲を高める学生の分母を上げることは難しい」という意見がみられた。

(4) 産学連携プロジェクト活動の経験と就職活動

図 4 産学連携プロジェクト活動の経験が就職活動に影響したか (単数回答)



産学連携プロジェクト活動の経験が就職活動に一定以上の影響を与えた回答は約 8 割であった。活動に関連する職に就いたのは、38.6%と高く、自らのキャリアを考える上で重要な意味を持っていたといえる。

3. 今後の課題

本活動報告では、ネット調査会社のパネルを利用した Web アンケート調査の概要を紹介した。実際に活動していた内容の質・量にばらつきがあると推測される面はあるが、学生ではなく経験を経て社会人になった後に振り返ってみた意見を把握したという面では一定の成果があった。

産学連携プロジェクト活動に関する基本的傾向を踏まえつつ、プロジェクトの取り組み内容や期間などタイプ別にどのような成果や課題があるかについて研究を深めていき、それを大学教育の実践に活かしていくことが必要だと考える。